

住みたい町、住んでよかった町をめざして



神崎町議会議長
高橋 正剛

新年あけましておめでと
うございます。

町民の皆様には希望に満
ちた清々しい新年を迎えら
れたこととお喜び申し上げ
ます。

昨年は議員の改選もあり、
議会、議員活動につきまし
て皆様のご理解とご支援を
賜り、厚くお礼を申し上げ
ます。

さて、昨年は関東東北豪
雨による鬼怒川の氾濫、口
永良部島や阿蘇山の噴火な
ど自然災害が発生し、また、
イスラム国によるパリ同時
多発テロなど世界各地で事
件が多発した年でもありま
した。一方、北陸新幹線金沢
までの開通、ラグビーワー
ルドカップ日本の歴史的勝

利、2人の日本人ノーベル
賞受賞、日本初のジェット
旅客機MRJの初飛行成功
など明るい話題も多い年で
した。

本町においては、4月に

合併60周年を迎え、道の駅
「発酵の里こうざき」が竣
工し、神宿浄水場の移転復
旧施設、古原の「第二浄水
場」からの通水を開始しま
した。6月には、首都圏中
央連絡自動車道神崎ICか
ら大栄JCT間も開通しま



古原の第二浄水場通水式

した。8月には新しい議員
による初議会が開催され、
新たな議会体制が整いまし
た。



あいさつ
のあいなる
議長高橋
就任の
議長高橋
で語る
会を述

本年は、町後期基本計画
の初年であり、また、地方創
生のまち・ひと・しごと創生
総合戦略のスタートの年で
す。人口減少と超高齢化が
進行するなか、人口減少問
題の克服、成長の確保が目
標とされています。

地方自らが地域資源を掘
り起こし活用することによ
り、多様な地域社会が形成
されます。また、町内外と
の積極的なつながりにより
新たな視点から活性化を図
ることが重要です。地域資

源の最も大切な「ひと」を
中心に、近隣自治体とも連
携・協力し、「住みたい町、
住んでよかった町」、「行っ
てみたい町、また行きたい
町」づくりを目指します。
道の駅や酒蔵まつりを核と
して、交流人口の増加を図
り、福祉、教育、産業などバ
ランスの取れた町づくりを
進めてまいります。

町民憲章の「先人の築か
れた教育の町としての伝統
を守り育てながら、道義と
秩序を基調とする健全な町
づくりをめざす。」を理念
とし、我々議員も、各々が
議会の使命と議員の職責を
改めて認識し、品位ある議
会運営・議員活動を実践し、
二元代表制の一方の担い手
として、チェックアンドバ
ランスを図り、住民福祉の
向上、町の発展のために努
力してまいります。

結びに、町民の皆様のご
多幸をお祈りするとともに、
本年も変わらぬご支援とご
協力をお願い申し上げます
で、新年のご挨拶といたし
ます。



4月29日にオープンした道の駅「発酵の里こうざき」